
ゲツゲツ

小田秋雪

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
グツグツ

【Nコード】
N5917G

【作者名】
小田秋雪

【あらすじ】
料理をする「私」を抱擁する「男」

（前書き）

ちよつとした性的表現あり。

くし型の玉ねぎをゴロゴロと木べらで転がし、豚肉もろとも火が通るまで待っている。背後から影が降ってきた。窓のないコンロ周辺は特に暗くなるので、背後に立たれるのは好きじゃない。まして、どんな反応も封じ込めるように肩ごと抱きしめられるのは嫌いだ。

「今日の晩御飯はカレー？ それともシチュー？」

「まだ決めてない。」

ご飯が炊けたと炊飯器が告げている。カレーにしるシチューにしる、豚汁にしる材料は全てそろっている。煮汁に何を溶かすかはその時に決断すればいい。今はまだ決断すべき時ではない。

大きな骨つばい手の甲が私の顎を上向かせる。防御を封じられた首筋に切り揃えられた頬髭が当たる。香ばしい油の香りが男の匂いに掻き消される。ざらついた舌が這う。

片方の手の平は脇の下、脇腹を上下する。もう一方は右の乳房をつかんでいる。解放された私の腕は玉ねぎの程よい焦げ付きを確認し、人参とじゃが芋を投入する。さっきより重くなった木べらで具材の上下を入れ替える作業に専念する。

今夜もこの男とセックスするだろう。昨夜もしたセックスを今日も繰り返す、明日も繰り返すだろう。

もうすぐ母が帰ってくる。父は5年前に出て行ったきりだ。一人娘の私は帰ってくると夕飯の支度をする。時々、帰ってすぐにセックスすることもある。それでも夕飯を作る仕事なくなることはないが。

「今日はどんなふうに抱かれない？　優しくされたい？　それとも痛いのがいい？」

抱かれたくないという答えは用意されていない。だから男の腕の中、私は振り向いてキスを求めるふりをする。

男は唇を歪め、私のお尻を強くつかむ。ぶよぶよと濡れた唇は無心になることで平気になる。長い修業を積んだ禅僧に匹敵するほどの瞑想状態ではないかと自画自賛している。誰に自慢するわけでもないが、誰も知ることはないのだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5917g/>

グツグツ

2010年12月12日09時30分発行